



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社エイジス 上場取引所 JQ
 コード番号 4659 URL <http://www.ajis-group.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 齋藤 昭生
 問合せ先責任者（役職名） 財務経理部長（氏名） 西岡 博之 (TEL) 043(350)0567
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 無
 四半期決算説明会開催の有無 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,312	△4.2	△89	—	△72	—	△43	—
22年3月期第1四半期	3,458	△1.8	32	△44.4	42	△31.1	△9	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△8.96	—
22年3月期第1四半期	△1.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	8,784	6,652	75.5	1,368.98
22年3月期	9,800	6,918	70.3	1,423.76

（参考）自己資本 23年3月期第1四半期 6,628百万円 22年3月期 6,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

（注）当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	9,039	0.2	1,003	0.1	1,014	△0.6	563	4.1	116.29
通 期	18,547	1.0	2,050	0.5	2,071	0.2	1,153	0.6	238.29

（注）当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 除外 一社

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	5,385,600株	22年3月期	5,385,600株
23年3月期1Q	543,602株	22年3月期	543,602株
23年3月期1Q	4,841,998株	22年3月期1Q	4,892,131株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、一部に景気の回復が見られるものの個人消費の動きは弱い状況下であり、当社の主要顧客である流通小売業においては回復までには至っておりません。従って、先行き不透明な状況が今後もしばらく続くものと思われます。

国内実地棚卸サービス事業は、G・M・S及び100円ショップ等のその他の業態で売上が剥落しました。

また、海外実地棚卸サービス事業は堅調に推移したものの、人材派遣サービス事業は国内の経済状況を反映して依然厳しさが続いております。

これらの結果から、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,312百万円（前年同四半期比4.2%減）、営業損失は89百万円（前年同四半期比122百万円の減少）、経常損失は72百万円（前年同四半期比115百万円の減少）、四半期純損失は43百万円（前年同四半期比34百万円の減少）となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内実地棚卸サービス事業の閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客である流通業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,784百万円（前連結会計年度比10.4%減）となりました。これは、主として上述いたしました繁忙期と閑散期の売上格差に対応し売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における総負債は2,131百万円（前連結会計年度比26.0%減）となりました。これは、主として閑散期の売上の減少に比例し人件費等の未払金が減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は6,652百万円（前連結会計年度比3.8%減）となりました。これは、主として配当金の支払によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,648百万円（前年同四半期比59百万円の増加）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、206百万円の増加（前年同四半期比52百万円の減少）となりました。これは、主として税金等調整前四半期純損失が75百万円（前年同四半期は四半期純損失9百万円）、法人税等の支払額が412百万円（前年同四半期554百万円）あったものの、売上債権の減少972百万円（前年同四半期968百万円）によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、416百万円の減少（前年同四半期比88百万円の増加）となりました。これは主として定期預金の預入による支出305百万円（前年同四半期202百万円）によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、216百万円の減少（前年同四半期比10百万円の減少）となりました。これは主として配当金の支払額201百万円（前年同四半期205百万円）によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績経過は概ね計画通りの推移となっておりますので、現時点での通期の業績予想につきましては、平成22年5月10日に発表いたしました「平成22年3月期決算短信」に記載の業績予想と変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,465,754	3,585,533
受取手形及び売掛金	1,361,326	2,327,900
貯蔵品	75,756	77,531
その他	343,075	311,799
貸倒引当金	△1,363	△1,962
流動資産合計	5,244,548	6,300,801
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,234,540	1,233,012
その他(純額)	961,629	949,249
有形固定資産合計	2,196,170	2,182,261
無形固定資産	565,112	524,780
投資その他の資産		
その他	794,533	808,768
貸倒引当金	△16,093	△16,378
投資その他の資産合計	778,439	792,390
固定資産合計	3,539,722	3,499,432
資産合計	8,784,271	9,800,234
負債の部		
流動負債		
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払金	1,110,605	1,319,409
未払法人税等	5,597	453,669
賞与引当金	190,185	311,295
役員賞与引当金	17,740	66,020
その他	379,125	287,900
流動負債合計	1,783,253	2,518,294
固定負債		
長期借入金	210,000	225,000
退職給付引当金	432	700
債務保証損失引当金	50,000	50,000
その他	87,798	88,123
固定負債合計	348,231	363,824
負債合計	2,131,484	2,882,119

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	489,665	489,665
利益剰余金	7,064,845	7,326,107
自己株式	△1,307,764	△1,307,764
株主資本合計	6,721,746	6,983,008
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△62,669	△59,346
為替換算調整勘定	△30,477	△29,837
評価・換算差額等合計	△93,147	△89,183
少数株主持分	24,187	24,290
純資産合計	6,652,786	6,918,115
負債純資産合計	8,784,271	9,800,234

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	3,458,647	3,312,761
売上原価	2,723,233	2,693,803
売上総利益	735,414	618,958
販売費及び一般管理費	703,035	708,746
営業利益又は営業損失(△)	32,378	△89,788
営業外収益		
受取利息	685	885
受取配当金	5,423	5,912
受取賃貸料	7,062	9,360
その他	2,946	8,995
営業外収益合計	16,117	25,153
営業外費用		
支払利息	134	754
賃貸費用	4,268	6,653
その他	1,771	890
営業外費用合計	6,173	8,298
経常利益又は経常損失(△)	42,322	△72,933
特別利益		
貸倒引当金戻入額	947	732
特別利益合計	947	732
特別損失		
固定資産除却損	184	164
投資有価証券評価損	52,599	2,999
特別損失合計	52,784	3,164
税金等調整前四半期純損失(△)	△9,514	△75,365
法人税等	△865	△31,890
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△43,474
少数株主利益又は少数株主損失(△)	714	△102
四半期純損失(△)	△9,363	△43,372

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△9,514	△75,365
減価償却費	66,771	74,767
賞与引当金の増減額(△は減少)	△110,565	△121,109
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△49,385	△48,280
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,248	△278
受取利息及び受取配当金	△6,109	△6,797
支払利息	134	754
投資有価証券評価損益(△は益)	52,599	2,999
売上債権の増減額(△は増加)	968,368	972,953
未払金の増減額(△は減少)	△62,581	△240,293
未払消費税等の増減額(△は減少)	△30,279	29,071
その他	△9,770	26,326
小計	808,420	614,749
利息及び配当金の受取額	5,327	5,626
利息の支払額	△112	△754
法人税等の支払額	△554,658	△412,709
営業活動によるキャッシュ・フロー	258,976	206,912
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△202,175	△305,814
有形固定資産の取得による支出	△215,877	△57,598
有形固定資産の売却による収入	28,041	21,812
無形固定資産の取得による支出	△64,593	△81,709
関係会社株式の取得による支出	△41,946	—
差入保証金の差入による支出	△15,159	△7,942
差入保証金の回収による収入	6,383	14,852
その他	243	△67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△505,084	△416,467
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△15,000
自己株式の取得による支出	△129	—
配当金の支払額	△205,659	△201,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,789	△216,100
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,068	410
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△442,829	△425,245
現金及び現金同等物の期首残高	3,031,839	3,073,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,589,010	2,648,674

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。

以上